

## ◆総務大臣賞◆

〈学校教育部門〉

## 「学校と家庭・地域をつなぐインターネット活用実践」

熊本県人吉市立東間小学校

〒868-0044 熊本県人吉市東間下町2683

## ■実践事例報告の概要

地域の公共施設と学校をテレビ会議で結び、継続的な共同学習を展開した。また、学校間をテレビ会議で結び、全員が発表できる交流学习を展開した。学校Webページでは、児童や保護者が情報を提供し、子どもの活動を外部から評価できる共有の場を設定した。インターネットを活用した「開かれた学校」作りを進め、学校と家庭・地域の連携を深めるとともに、継続的な交流の中から子どものコミュニケーション能力の育成をめざした。

## 実践のねらい

インターネットを活用して、学校と家庭・地域の連携を深めるとともに、「開かれた学校」をめざして、より質の高い教育活動を展開できるようにする。

また、家庭・地域との交流を進める中で、子どものコミュニケーション能力の育成を図る。

を設けた。

## 特徴・工夫・努力した点

- ・地域施設にWebカメラ・マイクを設置させてもらい、地域の公共施設や学校をテレビ会議で結び、地域の専門家と連携した学習を展開した。
- ・学校間において、複数のパソコンを同時にテレビ会議で結ぶようにするとともに、交流時間を確保することで、参加者全員が発表できる交流学习を展開した。
- ・学校Webページで、児童や保護者が情報を提供したり、子どものWebページ作成を外部から評価したりすることができる共有の場を設定した。
- ・子どもが地域情報を収集し、子ども自身が登録できるWebシステムを活用した授業を展開し、地域について調べたことを比較・検討できる場

## 実践内容

## (1)テレビ会議を活用した地域施設との共同学習

水道局・ゴミ処理場・警察署・新聞社（写真1）などの地域施設に、Webカメラ・マイクを設置させてもらい、テレビ会議を通して専門家から学ぶ学習を継続的に展開した。

## (2)参加者全員が発言できる学校間交流討論会の実践

複数のテーマで、討論会を同時に4か所で行い、学級全員が発言できるテレビ会議の活用を展開した（写真2）。また、僻地校との交流学习では、継続的に仲間作りを行った。

## (3)家庭との連携を深める学校Webページの充実

児童が校内の様子を知らせるメールマガジンを発行したり、保護者が児童の作品を評価してもらう外部評価システムを活用したりして、家庭との連携を深めた。

## (4)子ども参加型の地域情報Webページの作成と



写真1・新聞社とのテレビ会議の様子



写真2・テレビ会議による討議会の様子

## 活用

子どもが調べた地域情報について、子ども自ら登録できるシステムを開発し、授業で活用した。また、子どもが行った水質調査の結果をWebページで共有化して、環境問題を考えた。地域施設と連携し、地域学習用の教材コンテンツを作成・活用した。

## 実践結果

### (1)テレビ会議を活用した地域施設との共同学習

水道局との共同学習では、見学時に抱いた疑問なども含めて課題を追究することができた。さらに、専門家の方に、きれいな水を守るための提案をすることができた。

新聞社との共同学習では、新聞編集での著作権の取り扱いや「許諾」・「引用」の方法などを具体的な事例から教えてもらい、子どもの著作権感覚を高めることができた。

### (2)参加者全員が発言できる学校間交流討論会の実践

4つのグループどうしの討論会では、学級全員が発言することができ、意欲的に活動に参加し、合計12回という継続的な交流学习を展開することができた。また、僻地校との交流学习では、昼休みなどを利用して継続的に仲間作りを行った。

### (3)家庭との連携を深める学校Webページの充実

子どもの発想による「メールマガジン」を進め、学校の日頃の情報を知らせることで、子ども中心の学校Webページが充実し、学校と地域の連携を生み出すことができた。また、携帯電話でも受信できたので、購読者が増えていった。子どものWebページ作成に保護者や外部の方に評価してもらうことで、わかりやすく伝えようという思いを持つようになり、相手を意識した表現方法で意欲的に制作するようになった。

### (4)子ども参加型の地域情報Webページの作成と活用

子ども参加型システムを活用して地域情報を登録したことで、地域の情報を共有化でき、地域のよさを目向けるようになった。他校と連携して、子ども自らが水質調査をWeb上で共有化し、環境問題について日頃から考えるようになった。また、市役所から提供してもらった航空写真をデジタル化し、地域学習に役立てることができた。

## 考察（今後の課題）

今後は、保護者どうしの交流、保護者と地域施設の交流が展開できるようなインターネット活用を検討していきたい。地域施設との連携を深め、地域と協力した教材コンテンツ作成をさらに進めて、質・量ともに充実させるようにしたい。